

質問

健診の胃カメラで胃がんと診断されました。担当医からは手術を提案されています。胃がんの治療にはどのようなものがありますか。



西 正暁

徳島大学実践地域診療・
医科学分野特任教授

胃がん治療

回答

胃がんにかかる患者数は、全てのがんの中で男女共に第4位であり、多くの方が胃がんと診断されています。早期がんで発見されれば、100%近くの生存率が得られますので、症状が得られますので、定期的な検診が推奨されます。早期がんはほぼ無症状ですが、進行すると食欲不振、吐き気、嘔吐、体重減少などの症状が出現してきます。

胃がんの診断には、内視鏡検査（胃カメラ）や胃透視、CTなどの検査が必要です。そして①がんの局在②がんの大きさ・深さ③リンパ節転移の有無④肝臓や肺など他の臓器やお腹の中全体にが

んが飛んでいっていないか→をチェックし、治療方針を決定します。

胃がんの治療には、胃カメラを用いた内視鏡治療、外科手術、化学療法（抗がん剤）による治療があります。非常に早期のがんは胃カメラで治療できますが、進行していくと外科手術が必要になります。他の臓器に転移している場合は、化学療

法の適応になります。外科手術は、以前は開腹手術が中心でしたが、近年は小さな傷でお腹を膨らませて行う腹腔鏡手術が主流となり、さらに急速に増加しています。私たち手術支援ロボッ

ト「ダビンチ」や「ヒノトリ」を用いた、より精度の高い安全な手術治療を提供しています。

転移を伴う胃がんの治療は、自身の免疫を変化させる免疫チェックポイント阻害薬や新しい分子標的薬の登場により治療成績が向上しています。化学療法によって腫瘍を縮小させた後に、手術で完全に取り除くコンバージョン手術も増えてきており、転移を伴う進行がんでも根治できる可能性があります。

徳島大学病院では、胃がんを専門とする内科・外科医師の間で治療の方針を十分に相談し、ベストな治疗方法を選択して提供させていただきます。お困りの方がいらっしゃいましたら、徳島大病院あるいは専門機関を受診してください。

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088(634)6442
(平日午前 8時半から午後5時まで)へ。

胃がんに対するロボット支援胃切除



転移性でも根治の可能性

徳島大学病院では、胃がんを専門とする内科・外科医師の間で治療の方針を十分に相談し、ベストな治疗方法を選択して提供させていただきます。お困りの方がいらっしゃいましたら、徳島大病院あるいは専門機関を受診してください。



がん何でもクイズ

一人一人の遺伝情報に合わせて、治療を行う医療のことを何といいますか。

- ①在宅医療②がんリハビリテーション医療③がんゲノム医療

行こうよ！がん検診

高精度 ロボ手術急増